

子どもの貧困率について

子どもの貧困については、厚生労働省が毎年行う「国民生活基礎調査」において全国的な状況が調査されていますが、都道府県の状況については調査がありません。そこで愛知県では平成29年9月に「愛知子ども調査」の分析結果報告書を公表し、愛知県独自で子どもの貧困についての状況を提示しました。

今回はこの結果を中心に、全国及び愛知県の子どもの貧困の状況をみていきます。

○ 子どもの貧困率とは

貧困には、大きく絶対的貧困と相対的貧困の2つがあります。絶対的貧困とは、衣食住などの生きていくために必要最低限な物資、経済力が欠けている状態を指します。一方、相対的貧困とは、その社会で一般的となっている生活水準に達していない状況を指し、具体的には「貧困線」以下の所得にある状況をいいます。ここでは子どもの貧困率を相対的貧困でみていきます。

※貧困線…等価可処分所得(世帯の可処分所得(収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入)を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分の額

貧困線は相対的なものであることから、全国の貧困線と愛知県の貧困線は異なり、愛知県は全国の所得水準を上回っていることから、愛知県の貧困線は全国の貧困線よりも高い水準となっています。

- ・「国民生活基礎調査(平成27年)」の貧困線 … 122万円
- ・「愛知子ども調査(平成28年)」による愛知県独自の貧困線 … 137.5万円

また、国民生活基礎調査による全国の子どもの貧困率の推移は表1のとおりであり、この推移をみると貧困線は上昇傾向にあることから、国民の所得水準そのものは向上しているものの、国民の所得格差はむしろ拡大しており、子どもの貧困率は上昇傾向にあることがわかります。

この状況からは全体的な国民生活の向上とは別に、子どもの貧困対策が必要であり、またその必要性は年々高まっていることを示しています。

表1 貧困率の全国推移

	昭和 60年	63	平成 3年	6	9	12	15	18	21	24	27
	(単位：%)										
相対的貧困率	12.0	13.2	13.5	13.8	14.6	15.3	14.9	15.7	16.0	16.1	15.7
子どもの貧困率	10.9	12.9	12.8	12.2	13.4	14.4	13.7	14.2	15.7	16.3	13.9
子どもがいる現役世帯	10.3	11.9	11.6	11.3	12.2	13.0	12.5	12.2	14.6	15.1	12.9
大人が一人	54.5	51.4	50.1	53.5	63.1	58.2	58.7	54.3	50.8	54.6	50.8
大人が二人以上	9.6	11.1	10.7	10.2	10.8	11.5	10.5	10.2	12.7	12.4	10.7
	(単位：万円)										
貧困線	108	114	135	144	149	137	130	127	125	122	122

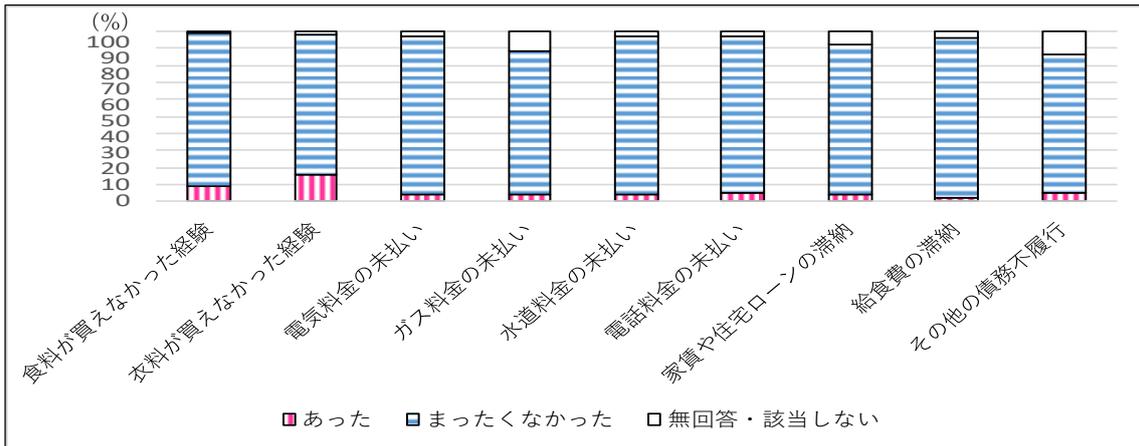
- 注:1) 平成6年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 平成27年の数値は、熊本県を除いたものである。
 3) 貧困率は、OECDの作成基準に基づいて算出している。
 4) 大人とは18歳以上の者、子どもとは17歳以下の者をいい、現役世帯とは世帯主が18歳以上65歳未満の世帯をいう。
 5) 等価可処分所得金額不詳の世帯員は除く。

資料:厚生労働省「国民生活基礎調査」

○ 愛知県の子どもの貧困の状況について

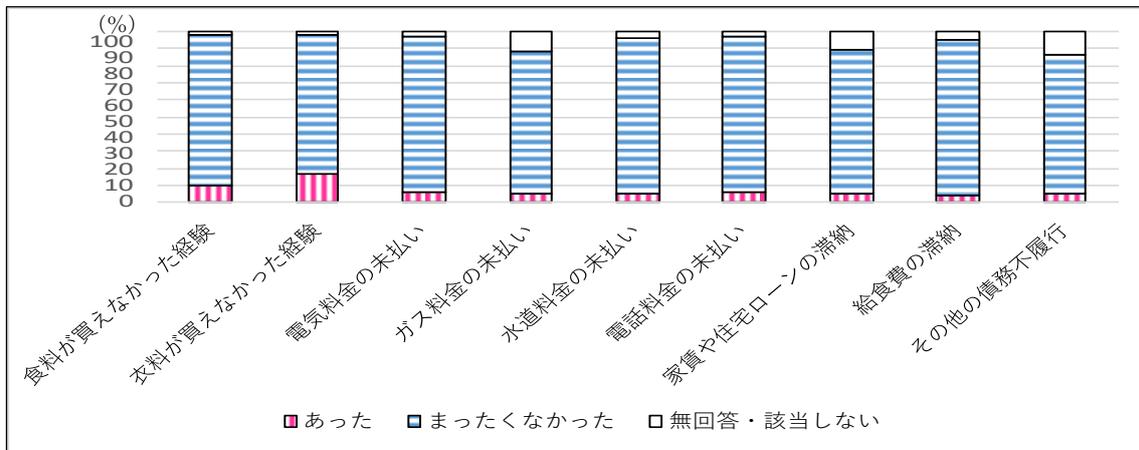
「愛知子ども調査」によると、国民生活基礎調査の貧困線(122万円)による愛知県の子どもの貧困率(平成28年)は5.9%と、全国の子どもの貧困率(平成27年)の13.9%に比べかなり低い水準にあるばかりでなく、愛知県独自の貧困線(137.5万円)による、愛知県の子どもの貧困率(平成28年)も9.0%であり、愛知県は所得水準が高だけでなく、所得格差も相対的に低いことから、子どもの貧困率自体は全国と比べると高くありません。

図1-1 過去1年間の経済的な状況(小1保護者)



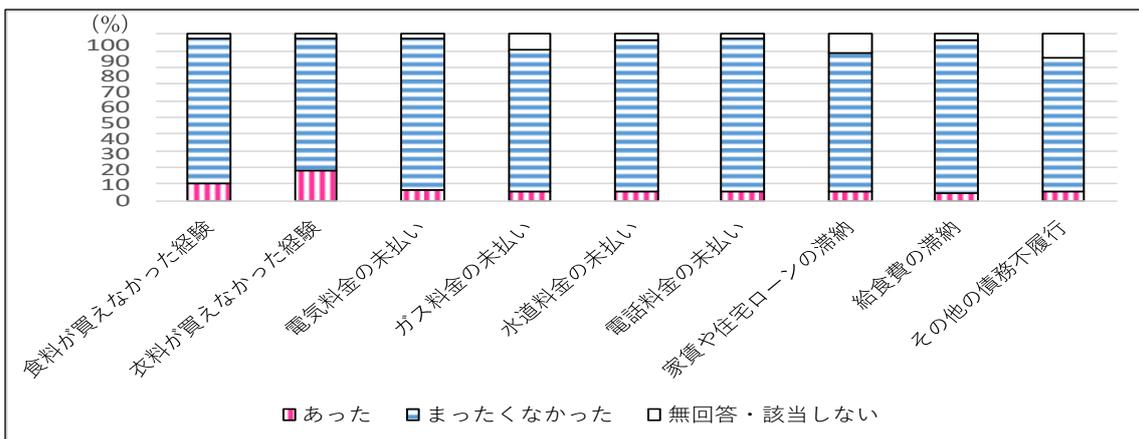
資料: 県健康福祉部「愛知子ども調査(平成28年)」

図1-2 過去1年間の経済的な状況(小5保護者)



資料: 県健康福祉部「愛知子ども調査(平成28年)」

図1-3 過去1年間の経済的な状況(中2保護者)



資料: 県健康福祉部「愛知子ども調査(平成28年)」

しかしながら、「愛知子ども調査」の個別の調査状況からは、過去1年間に食料や衣料が買えなかった経験が「あった(「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)」の割合は、約 9～18%となっています。また、過去1年間に未払い・滞納・債務不履行の経験が「あった(「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)」の割合は、約 2～6%となっています。この状況は学年が上がるにつれて少しずつ増加しており、厳しい環境に置かれている子どもの状況がみてとれます(図1-1、1-2、1-3)。

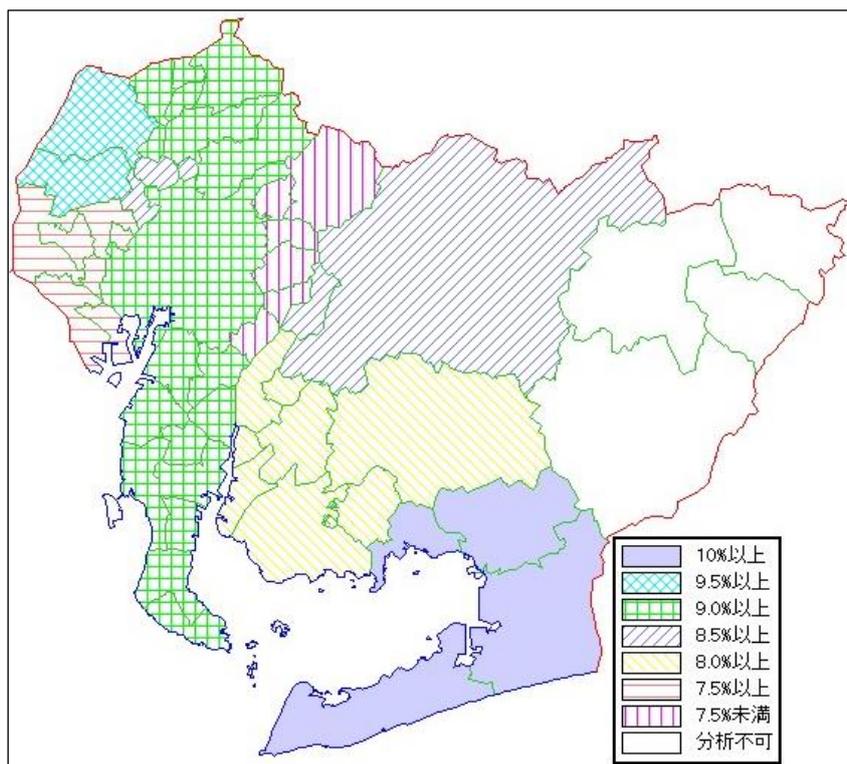
○ 愛知県における圏域別の子どもの貧困率

愛知子ども調査の貧困線(137.5 万円)による子どもの貧困率を圏域別にみると、尾張東部は他の圏域に比べて貧困率がやや低く、東三河南部は他の圏域に比べて貧困率がやや高くなっています。地域ごとに若干の相違があることから、子どもの貧困に対しては、地域や市町村ごとのきめ細やかな対応が必要です(図2)。

圏域名称	市町村名
1. 名古屋	名古屋市
2. 海部	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村
3. 尾張中部	清須市、北名古屋市、豊山町
4. 尾張東部	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町
5. 尾張西部	一宮市、稲沢市
6. 尾張北部	春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町
7. 知多半島	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
8. 西三河北部	豊田市、みよし市
9. 西三河南部東	岡崎市、幸田町
10. 西三河南部西	碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市
11. 東三河北部	新城市、設楽町、東栄町、豊根村
12. 東三河南部	豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市

注 東三河北部圏域は、調査票回収数が少ないため分析できません。

図2 貧困率(137.5万円以下)



資料: 県健康福祉部「愛知子ども調査(平成 28 年)」